No.612
2025.9.16

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th

岐阜県金属工業団地協同組合

8月度月例会開催

8月18日(月)組合研修センターにて月例会を開催しました。しまね産業振興財団 販路支援課・島根県商工労働部企業立地課の職員の皆様から「島根県の産業のご紹介」「製造業の概要および企業誘致の取り組み」と題してお話していただきました。

島根県では、産業の活性化と人口減少・少子高齢化に歯止めをかけることを目的に、積極的な企業誘致施策を推進しています。豊かな自然環境と安定した生活基盤、そして、全国的に見ても地震リスクが比較的低いことから、実際に中部圏からも複数の企業が島根県へ進出し、拠点を構えて事業展開しています。

また、特殊鋼・鋳造業・自動車部品産業などの製造業が盛んで、金属団地と親和性が高いことに加えて、充実した優遇制度もあるそうで、企業の未来を見据えた選択肢の一つとして考える講演となりました。

社長就任のあいさつ

株式会社和井田製作所

代表取締役会長兼社長　和井田光生

この度、会長兼社長に就任致しました和井田光生でございます。

弊社は1961年にこの金属団地が発足以来の初期メンバーとして64年、この地で長い間お世話になっております。社内ではこの工場を岐阜工場と呼んでおり、この工場が出来た事により精密工作機械の開発、製造をスタートすることが出来た弊社にとっては大変思い出深い、歴史的にも意義のある工場となっております。

現在は主力生産が高山本社工場に移ったこともあり、現岐阜工場では投影機(当社機械の一部高精度装置)のみを生産しており、その他として販売は中部営業所、カスタマーソリューションサービス部の中部地区アフターサービス拠点としての位置づけとして活動をしております。

また、現在海外売り上げが60%以上となっており特殊研削盤においてはグローバルニッチトップを目指し、海外比率をさらに上げていく所存であります。

金属団地の皆様におかれましては、引き続きのご指導、ご鞭撻をいただけますよう、何卒宜しくお願いを申し上げます。

マイ ファミリー

岐阜愛知電機（株）　永田　徹

我が家は夫婦二人と犬一匹の構成です。犬は赤柴の雌犬で10才。名前は「もも」です。人懐っこく誰にでもしっぽを振りながら近づいていきます。そのため家に人が来ても吠えません。残念ながら番犬にはならない犬です。

「もも」は2代目です。初代は子供が犬を欲しがって飼い始めました。雌のビーグル犬で15年生きてくれました。息を引取ったとき市の焼却施設へ持って行くと妻に言うと、葬式をすると言い出しました。仕方なくインターネットで調べると、ペットの葬式を行っているお寺があり電話で予約。翌日会社を休み、お寺でお坊さんにお経を読んでもらい、焼香し冥福を祈りました。お寺で火葬し共同墓地に埋葬してもらいました。締めて20,000円弱の葬儀代でした。犬の葬式のことを子供に話すと、子供から「父さんは犬をペットと見ているが、母さんは家族と見ているんだよ」と諭され、そうなんだと気づきました。

お盆にお寺の共同墓地へ墓参りに妻と行きました。共同墓地には十数人が列を作って順番待ちをしており、多くの人が墓参りしていることに驚きました。

妻は「もう犬は飼わない」と言っていましたが、4か月程度経過したとき、車で30 ～ 40分かかる隣町のホームセンターへ連れていけと言われ、目的を聞くと、子犬を見に行くとのことでした。その時に見た子犬が「もも」です。生後4か月でした。

「もも」の散歩は私の役目で毎日朝と夜に行っています。朝は5時半から20分程度、雨の日も雪の日も欠かさず行っています。夜は帰宅後に、飲み会があって深夜になっても、「もも」がしっぽを振って迎えてくれるので、足元がふらついていても「もも」に引っ張られながら散歩に行っています。

家の近くに川が流れており、川の両岸が遊歩道になっています。上流の橋を渡り対岸を歩いて下流の橋を渡って戻ってくると1,500mの距離になります。休日は朝と夕方に1周しています。これが私にとってちょっとした運動です。

散歩の途上「もも」は、大型犬には尻込みするのですが、自分と同じ大きさ以下の犬には人懐こく近づき相手の匂いを嗅いでいます。お陰で飼い主と言葉を交わし、顔見知りになることもできました。

私が子供の頃（半世紀以上前）は、犬を番犬として飼うのが一般的でした。庭の犬小屋で飼い、食事もご飯に味噌汁を掛けた程度のものでした。それが今日では食事にドッグフードを与え、屋内で飼っています。動物病院も多数あります（先日、「もも」を病院に連れて行くと、多くの犬猫が診察に訪れており、診察が終わるのに2時間半かかりました）。さらに、ペットのお寺もあります。昔と違い、生活が豊かになり、犬にかわいさ（癒してくれる）があり、家族として飼うことが一般的になっていると感じています。

「ベジタリアン? ヴィーガン?」日本人はまだ知らない食の世界

～多様な食文化に寄り添う一杯を目指して～

好きなお笑い芸人のひとりに吉本興業の小籔千豊がいます。

テレビ番組「すべらない話」での彼のトークは、どれも面白く、いつも笑わせてくれます。そのトークの中で、彼は肉を食べないことをネタにされることがあります。

彼は牛肉、豚肉、鶏肉を食べないことを以前から公言していますが、宗教的な理由ではなく、祖父の教えによるものだそうです。肉を食べない理由について話す時、何を食べて何を食べないのか？を、いじられ（質問され）、食べる物に関していつものやりとりになります。

「肉を食べないって言うけど、なに食うん？魚肉ソーセージは食べるん？」と、突っ込まれ、

「なんでやねん！魚肉ソーセージは魚やん！食べるやん！」と返す。

「マクド行ったら、なに食うん？」「フィレオフィッシュ！あるやん?! 」

「無人島で肉しかなくて死にかけている場合、肉食うの？」

「そら、食うやん !! グルメぶって死ぬわけないやん !! 」

と、いったやり取りで笑いを誘います。

こうしたエピソードは、笑いを通して食文化の違いや価値観の多様さを考えるきっかけになります。

日本ではベジタリアンやヴィーガンという言葉を耳にすることはあっても、実際にどのような食生活なのかを理解している人はまだまだ少ないのが現状です。ベジタリアンとは、肉を食べない人のことで、魚や卵、乳製品を摂る場合もあります。ヴィーガンはさらに厳格で、肉・魚・卵・乳製品はもちろん、ゼラチンやラードなど動物由来の食材も一切口にしません。こうした食習慣は宗教や健康、環境への意識など、単に好き嫌いということだけではなく、さまざまな理由で行われており、海外では一般的なライフスタイルとして定着しています。しかし、日本ではまだまだ理解されていません。これまでの日本では、食事において「美味しさ」が最優先され、原材料や食文化の違いに関する配慮はあまり意識されていませんでした。近年、ファミリーレストランなどでは原材料の表示が義務付けされ、消費者は安心して食事を選ぶことが出来るようになりましたが、ラーメン店では店主のこだわりや美味しさを優先するあまり、「鶏白湯」と表記されていても、鶏だけでなく、豚も使用されていることがあります。

ラーメンは今や日本だけでなく、世界中で親しまれる料理となりました。しかし、同じラーメンでも、日本とオーストラリアでは求められるものが少し違います。日本では、鶏ガラや豚骨、魚介などを組み合わせて旨味を引き出すスープが一般的で、食べる人も「何が入っているのか？」よりも「どれだけ美味しいか？」を重視する傾向があります。一方オーストラリアでは、宗教的な理由や健康志向、環境意識などの背景から、ヴィーガンやベジタリアンを含む多様な文化が当たり前になっています。その為、原材料をしっかりと表示することが求められ、食べる人への配慮も日本以上に必要とされています。

私の息子は昨年、オーストラリアのブリスベンでラーメン店をオープンさせましたが、こうした食文化の違いや価値観の多様さを、彼は現地で身をもって体験しました。

開店当初、「鶏や豚の旨味を合わせれば、より美味しい（スープ）ラーメンが作れる」と考え、鶏白湯をベースにしたラーメンを提供していましたが、現地のお客様には原材料や動物性食材を気にする方がとても多く、グループで来店されたお客様のうち一人がベジタリアンだと、対応メニューがない為、入店を断らざるを得ないことがありました。

この経験をきっかけに、その後、ベジタリアン向けのメニューを用意したことで、多様なお客さまにも喜んで頂き（来店しやすくなり）、多くの方に愛されるラーメン屋となりました。息子の体験は、食文化の多様性に配慮することが飲食店にとってどれほど大切かを教えてくれました。

こうした経験は、今の日本でも無関係ではありません。近年ではインバウンド需要が高まり、多くの外国人観光客が日本を訪れるようになりました。これからは外国人観光客の多様な食文化に対応することはもちろん、日本人自身もベジタリアンやヴィーガンの考え方や価値観を理解し、誰もが安心して食事を楽しめる環境を整える必要があります。例え美味しさを追求する料理であっても、原材料や食文化への配慮が欠かせない時代になって来ているのです。

小藪千豊さんのように「食べ（られ）るもの」「食べないもの」をユーモアで語ることも、海外ではそれが文化的・宗教的背景に根差すことが多く、これからは、日本のラーメン店でも飲食店でも、オーストラリアのように「美味しさ」だけではなく、「原材料の明確化」や「多様なニーズへの対応」がますます重要になってきます。

オーストラリア（ブリスベン）に行く機会がありましたら、「RAMEN　KANN」の多様な食文化に寄り添う一杯を、是非食べてみて下さい。

2032年夏季オリンピックがブリスベンで開催されますので、そのついでにどうぞ！

それまでに閉店していなければ、ですけど･･･。(;^_^A

海坊主

青年部コーナー

ChatGPT講座

盆休みを間近に控えた8月7日に青年部研修委員長の（株）サクラダ工業 横山さんにChatGPTを業務に活用する旨の講座を開いていただきました。

講座の流れとしては基本的なChatGPTの使い方に始まり、実際の業務に活用した例とその方法を教えていただきました。私自身業務で調べものをする際や、データをまとめる際にChatGPTやperplexityを使用しているので当日は大変興味深く拝聴させていただきました。

私が講座内で興味を惹かれたのは（株）サクラダ工業でのChatGPTの活用方法でした。同社ではメールの返信や不具合対策書の作成に活用しているとのことでした。メールの返信では送られてきたメールの文面を貼り付けるとAIが自動で返信内容を作成してくれるとのことで、不具合対策書に関しては送られてきた不具合の情報を打ち込むとAIがその対策を立て、対策書のフォーマットにまとめてくれるとのことでした。AIの活用によって時間を節約できることが分かりました。

AIは必ずしも万能ではありません。もちろんメールを送付する前に内容が食い違ってないかチェックは必要ですし、不具合対策も修正が必要な場合は校正しなければなりません。人によっては対策書ぐらい自分で書けよと思われる人もいらっしゃるかもしれません。しかし、無料もしくは月数千円で自分の部下を雇えると捉えるとどうでしょうか？メール文面を作成し、不具合対策書も7割程度作成してくれます。しかもどれも所要時間は数秒から数分です。これだけの仕事ができる人間を新規で雇

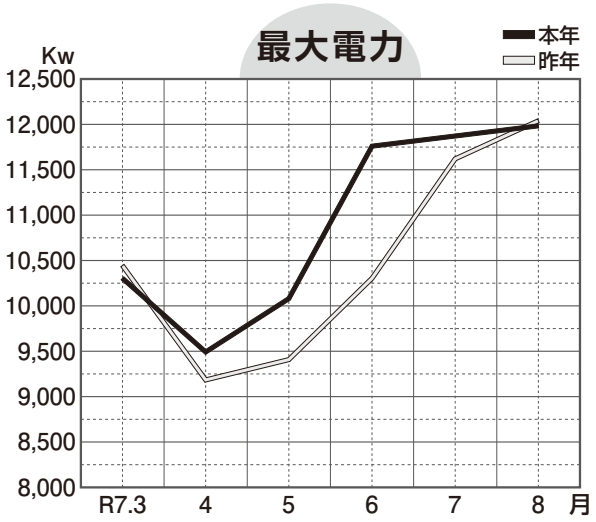
用し、育成しようとすると採用コスト、育成コストはChatGPT導入の100倍は下りません。

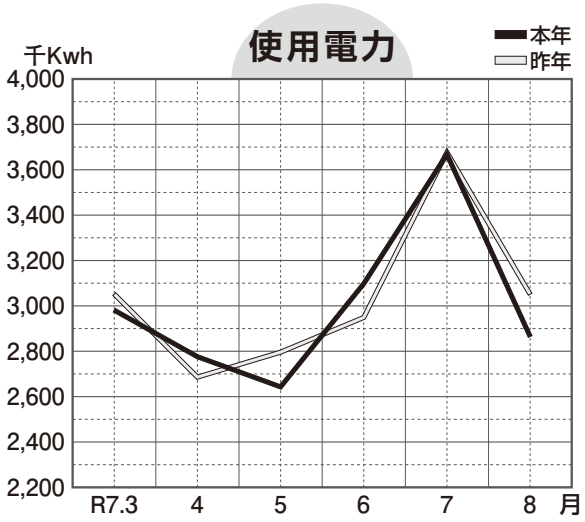
巷ではAIに仕事を奪われる職種○○選などとくだらないランキングが跋扈していますが、これからの時代ではAIを自分の部下やパートナーとして利用していく時代であると思います。先の業務内容をAIに任せることでうまれる数分、数時間及び脳のリソースを経営、管理、営業、設備投資考案に充てることで企業がより強くなることでしょう。

まだまだ歴史の浅いAIではありますが、同氏の講座を拝聴し「やったもん勝ち」の状況にあると私は思いました。

お知らせ

令和7年8月分電力使用状況





電気は正しく使いましょう!!

受電設備の雑草・蔓の侵入にご注意を!!

残暑が厳しい影響で、今年は例年より雑草・蔓の成長が早くなっています。
雑草や蔓が成長すると、受電設備の通気口からの侵入・電柱の支線への巻き付きによって、電気設備と接触してしまい地絡・短絡事故になってしまうケースがあります。また、雑草や蔓が生茂ることで、小動物が近づきやすい環境となり小動物が受電設備に侵入する危険にもつながります。

■ 対策方法

①受電設備周辺の定期的な除草。

※草刈り機など刃物を使用すると、ケーブル等を傷つける恐れがあるため使用を避ける。

②防草シートや砂利で発生を防ぐ。

③受電設備へ細かいメッシュなどを追加して侵入を防ぐ。

行 事 予 定

2025 9 September

16	火	月例会（12：00 ～） 役員会（14：00 ～）
17	水	駐車場草刈り　溶接組合周辺
18	木	駐車場草刈り　溶接組合以外
19	金	親睦旅行（～ 20 日）
20	土	『組合休日』
21	日	
22	月	
23	火	『秋分の日』 『組合休日』
24	水	
25	木	
26	金	消防訓練
27	土	団地Ｇ 『組合休日』
28	日	
29	月	編集委員会
30	火	

2025 10 October

1	水	
2	木	衛生大会
3	金	
4	土	『組合休日』
5	日	
6	月	正副常任会
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	『組合休日』
12	日	
13	月	『スポーツの日』 『組合休日』
14	火	
15	水	

■ 10月の行事予定

10月17日㊎　代表者会議（すぎ山）
10月19日㊐　団地内全停電
10月20日㊊　月例会・役員会

■ 11月の行事予定

11月７日㊎　岐阜県中小企業団体中央会創立70周年記念式典
11月12日㊌　中小企業団体中央会全国大会
11月17日㊊　臨時総会・役員会
11月22日㊏　団地Ｇ（青年部合同）

■ 8月度金属団地ゴルフ会（取り切り戦）

8月23日㊏　岐阜関カントリー倶楽部（東コース）
優勝　秋田隼輔（秋田鉄工）　２位　宮永恒治（ミヤナガ）　３位　松原伸五（ＭＴＫ）

G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

http://www.g-mecca.jp